

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・来客数は変わらないが、年々低下していた客単価に 下げ止まり感が出てきたため、売上は前年並みになっ てきた。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・今月の売上は例年と比較して1割弱上向いている。 ・建設やコンサルタントなどの客からは悲鳴が聞かれ るが、金型など製造関係の企業では大変忙しく、年内 は何とか大丈夫という話も聞く。依然として業種によ る格差がみられる。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・今月は周年記念開催があったため、来客数、客単価 ともに多少伸びている。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・来客数、販売量ともに相変わらず好調である。今ま でかなり悪かった地元企業が3月期の好決算を発表し たことも影響している。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・入通りは例年並みで、また空き店舗もないが、商品 が全般的に売れていない。
		一般小売店〔果 物〕（経営者）	販売量の動き	・ゴルフコンペのシーズンであるが、開催が少ないた め、賞品の需要が生じない。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・当地では梅雨シーズンにもかかわらず降水量が少な かったため、夏物のファッション衣料の動きは良かった。
		百貨店（営業担 当）	単価の動き	・来客数はあまり落ちていないが、一点買いが多いた め、客単価が伸び悩んでいる。また、少額の買上でも カードによる分割払いを希望する客が見られる。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・来客数は増えているが、客単価が落ちている。理由 は買上点数は前年と変わらないものの、一品単価が低 下しているためである。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・来客数、客単価ともに前年割れである。特に客単価 は食品の競合の影響を受けて、低単価傾向が続いてい る。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客は無駄な買物をせず、いろんな店で買い回りをし ている。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・今月はたばこの買いだめが目立つ。しかし、客単価 が低いため、全体的には変わらない。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・客はお金を持っているものの使わないため、客単価 は変わらない。たばこについては値上げ直前にカート ン単位の購入が多かった。
		家電量販店（経 営者）	販売量の動き	・4、5月に比べチラシ等の広告量を減らしたため、 大半の取扱商品の売上が伸びなかった。客は超目玉な ど刺激的な内容を盛り込んだ広告には反応するが、一 般的な内容では反応がない。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・春先以降、来客数の減少が続いている。特に、期待 している土、日曜日の減少が目立つ。
		乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・ここ数か月間の販売台数はほぼ横ばいで推移してい る。このなかで昨年発売されたRV車はかなり高額で あるが、好調な売行きを示している。
		乗用車販売店 （経理担当）	販売量の動き	・前年に比べて4月はいったん悪化したが、その後若 干持ち直している。各ディーラーともに販売のウエー トが小型車に移っているため、販売単価は低下してい る。
		乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・新型車が登場した割には、来客数は前年比10%減少 している。
		その他専門店 〔医薬品〕（営 業担当）	来客数の動き	・商品構成の中で消耗頻度の高い、より身近な生活用 品を多く取りそろえ、チラシ攻勢をかけたため、来客 数はややプラスで推移している。
	高級レストラン （スタッフ）	販売量の動き	・6月は団体の予約が例年並みで推移しているが、小 グループの受注が激減しているため、苦戦を強いられ ている。 ・暑い季節となり、飲料の売上が1割程度伸びてい る。	
	都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・婚礼宴会は受注件数の減少から減収の見通しとなっ ているが、一般宴会は3か月前と比較して伸びてい る。全体ではほぼ前年並みとなる。	

	通信会社（社員）	販売量の動き	・新年度に入ってから、携帯電話の注文の動きが例年に比べて鈍い。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・個人、団体ともに前年に比較してあまり良くない。特に団体が悪い。	
	設計事務所（職員）	販売量の動き	・受注に結びつく案件が回復しつつあるものの、ボリューム的には簡単に回復しない。まだまだ辛抱が続く。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・来店客の多い店と少ない店の二極化が目立つ。	
	一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・周囲の競合店が安売りのチラシを大量に投入しているため、客単価が下がっている。特売商品についても客の買い回りが目立つ。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年の95%を下回り、季節商品のサンダルの売上も前年の80%を切る状態で推移している。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数のばらつきや減少は、店と客とのコミュニケーション機会を低下させている。	
	乗用車販売店（経理担当）	来客数の動き	・今月は大規模イベントを実施した結果、新車は目標を下回ったものの、中古車は目標を多少上回る実績となった。ただ、来場者数は予定の半分しかなく、市場環境は厳しさを増している。	
	住関連専門店（店員）	お客様の様子	・低価格帯及び超目玉のバーゲン商品でも、客はすぐには買わず、他店と比較したうえで購入する傾向が目立つ。	
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・売上も来客数も減少している。いつもランチを食べている客の来店が少なくなったため、昼の客が非常に減っている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・レストランと宴会部門は単価の下げ止まり感がみられるが、宿泊と婚礼部門は単価の下げが大きく、引き続き厳しい。	
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・若い人の展示場への来場は多いが、折衝の際に親の反対が多いため、成約になかなか結びつかない。親の世代が非常に慎重になっている。	
悪くなっている	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・ホームセンター部門ではレジャー関連商品の動きが非常に鈍い。衣料では父の日の需要がファッションものでなく、実用的な肌着やパジャマなどに集中している。また、食料品では春まではある程度伸びていたが、最近ほとんど動きがみられず、前年と同じ水準にとどまっている。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行は全くなく、国内旅行は前月比9%のマイナスである。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数が前年同月比で2割近く減少している。主な要因は昨年開催された大河ドラマや近隣の名刹の大型イベントがなくなったことである。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注の動きがようやく出てきたが、客にコスト削減の意識が強く、採算的にはギリギリのビジネスとなっている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・業界の中で取引先の信用度が非常に不安な状況になっている。また、製品の消費動向では中級品クラスの動きが低迷している。
		化学工業（営業担当）	競争相手の様子	・競争相手では、極度に経営悪化を来している企業と、先行設備投資を積極的に行っている企業に二極分化している。後者でも新規受注までの設備面の準備期間が非常に長くなっている。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・价格的には1年前から非常に厳しい状況が続いているが、最近になって更に競争が激しくなっている。
		電気機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・全体的には底を脱している感じがする。しかし、多品種の製品は流れているものの量的には一向に増加傾向が表れない。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・今月は上半期の決算を行う取引先が多いにもかかわらず、受注量や配車台数は前年と比較して2割程度減少している。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・荷量、価格ともに下げ止まりが利かない。競争先も厳しい状況である。
やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・価格の安い商品へのシフトが鮮明で、既存品でも価格を下げざるを得ない。	

		建設業（経営者）	競争相手の様子	・県からの発注工事量は前年同期比で35%減少している。仕事量が減る中で、相変わらず低入札価格調査の対象となる物件が多くみられる。
		司法書士	取引先の様子	・分譲マンションの新築計画がほとんどみられない。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格競争がこれまで以上にエスカレートしているため、採算確保の受注機会は少なく、見送りをするケースが一段と増加している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告はほぼ前年並みである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人の受理状況にあまり変化がない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の増加傾向が続いている。求職者は減少傾向にあるものの、滞留が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人が前年同月と比べて2.5%増加しているが、有効求職者が4月に入って7000人を超える状況になっている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・取引先からは、求人ではなく、人員削減の相談を受けるケースが目立ってきた。
悪くなっている	-	-	-	